

公益社団法人インテリア産業協会

平成26年度事業報告

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

I 基本方針関連（概要）

ICやKSの育成やインテリアの普及啓蒙活動におきまして、次のように関係事業に注力しました。

- ① IC・KS有資格者の育成とその活動支援につきましては、特にキッチスペシャリスト(KS)を対象としたセミナーを九州支部で開催したほか全国各支部におけるスキルアップセミナー等を実施し育成を図りました。また、インテリアコーディネーター(IC)とKS向けに分かれていたメールマガジンを統合したほかホームページの資格者ページを改善して支援を強化しました。
- ② IC・KSの資格の魅力等の広報につきましては、業界紙、雑誌などへの試験案内広告のほか活躍しているIC等の掲載紹介を積極的に行ったことに加えて、ホームページのコンテンツの更新等を行い効果的に行いました。
- ③ 試験科目を統合したIC一次試験につきましては、科目統合した学科試験を実施したほか科目免除措置対象者向けに従前の2科目の試験を、計画どおり順調に実施しました。
- ④ 次代を担う若い世代に向けたインテリアの普及・啓蒙活動につきましては、中学生向け技術家庭科副読本頒布を前年度以上の水準で行ったほか、住まいのインテリアコーディネーションコンテストにおける高校生部門受賞作品を掲載した年度カレンダー新規に作成するなど普及啓蒙活動を積極的に行いました。

II 個別事業

1. 教育・情報提供事業

1-1 情報提供活動

インテリアについて学ぼうとする者、ICまたはKS資格認定試験を受けようとする者等に対しての書籍頒布につきましては、IC一次試験の科目統合試験の実施と相まって、「インテリアコーディネーターハンドブック統合版」上下巻を2回に渡る増刷(2・3刷版)を行い、合計6,000セットを頒布に供しました。

また、インテリア空間とキッチン空間の境界がなくなっている現状を踏まえて、これまでICとKSのそれぞれ別のメールマガジンを配信していたものを統合し、共通化した内容のものに改善し、新年度冒頭の統合配信を確立しました。

さらに、ホームページの資格者専用利用ページ(Myページ)におきまして、従前からのICに加えて新たにKSが利用できるページを新設し、セミナー等のスキルアップのための情報入手や、自己アピールができるように利便性の向上を図りました。

1-2 通信教育事業

通信教育事業関係については、科目統合をしたIC一次試験に対応した講座を開始するなど次のとおり年度の講座を確実に実施しました。

① IC受験講座：

本年度の講座は、のべ520名(前年度389名)が受講しました。

② KS受験講座：

本年度の講座は、のべ208名(前年度203名)が受講しました。

また、協会の通信教育事業のあり方については、関係の委員会で検討を行い、継続して検討を深めることとしました。

2. 資格認定試験事業

2-1 IC資格認定試験

第32回IC資格認定試験を、次のとおり実施しました。

- ・一次試験 平成26年10月12日(日)
- ・二次試験 平成26年12月7日(日)
- ・試験会場 次の全国12地域

札幌、盛岡、仙台、高崎、東京、名古屋、金沢、大阪、広島、高松、福岡、沖縄

一次試験については、科目を統合した学科試験のほか科目免除措置者に対する従前からの2科目の試験を実施しました。

合格者数等の結果は次のとおり。

■平成26年度(第32回)申請者・受験者・合格者の概要

【一次試験】(人)		【二次試験】(人)	
受験申請者数	10,258	二次受験対象者数	4,202(内:一次免除者1,667)
受験者数	8,907	受験者数	3,633(内:一次免除者1,283)
一次合格者数	2,648	二次合格者数	2,297
一次合格率	29.7%	二次合格率	63.2%

■合格者の推移

実施回[年度]	受験者数(注)	合格者数 (二次合格者数)	合格率
平成26年度[第32回]	9,361	2,297	24.5%
平成25年度[第31回]	9,605	2,362	24.6%
平成24年度[第30回]	9,789	2,554	26.1%
平成23年度[第29回]	9,876	2,472	25.0%
平成22年度[第28回]	10,719	2,484	23.2%

注:一次・二次の試験を通じて、当該年度に資格取得まで目指した受験者

2-2 KS資格認定試験

第27回KS資格認定試験を、次のとおり実施しました。

- ・試験日 平成26年12月7日(日)(IC二次試験と同日)
- ・試験会場 全国12地域(IC二次試験と同地域)

本年度は資格取得対象受験者は975名で、合格者は338名となりました。

■合格者の推移

年度	申請者数			資格取得対象 受験者数	合格者数	合格率(%)
	総合	実技・学科	総数			
H26年度(27回)	875	341	1,216	975	338	34.7
H25年度(26回)	868	354	1,222	997	394	39.5
H24年度(25回)	853	294	1,147	891	342	38.4
H23年度(24回)	804	392	1,196	935	388	41.5
H22年度(23回)	973	477	1,450	1,174	506	43.1

3. 資格更新登録事業

3-1 登録更新業務の効率的実施

定期的なIC・KS有資格者の登録更新業務を、前年度にリニューアルした「IC資格登録システム」及び「KS資格登録システム」を利用することで効率的に実施しました。

平成26年度の新規登録者を加えて、年度末時点における登録有資格者は次のとおりです。

- ・IC資格登録者数： 54,845人(前年度末(3/6時点)：52,972人)
- ・KS資格登録者数： 8,340人(前年度末(3/6時点)：8,164人)

3-2 更新者への有益情報の提供と更新率の向上

有資格者の活動に有益な知識・情報を盛り込んだ「IC・KS読本」を作成し、IC・KSの更新該当者全員に、更新案内に添えて提供しました。

また、協会ホームページの専用ページにおいて資格者が利用できる各種サービス等を紹介するチラシも同封して利用を促しました。

4. 講座等開催事業・IC団体との連携・協力

4-1 能力向上・インテリア普及啓蒙講座等の開催

会員企業等の参画を得つつ各地域の支部が実施の主体となり、IC・KSの能力向上及びインテリアの普及啓蒙を目的とした講座、講演会等を、全国各地で次のとおり開催しました。

また、高等学校のインテリア系学科の生徒を対象に、地域のICを講師とした「インテリアの出前授業」を中国支部の地域について取り組みました。

①北海道支部

◇暮らしから考えるインテリアキャンペーン（札幌市、釧路市、函館市、旭川市、北見市）

◇CG パース体験セミナー

◇インテリア研修会「ユニバーサルカラーのインテリアへの応用講座」
等々のスキルアップセミナーを中心に全6件（9回）を開催しました。

②東北支部

◇ブラインド等のひもの安全に関するセミナー

◇インテリアに活かすカラーセラピー講座&パステルアート作成

◇セミナー 伝統からの革新

等々のスキルアップセミナー・イベントなど全15件を開催しました。

③関東甲信越支部

初めての取り組みとして、地域の図書館との共催でインテリアの普及を目的とした一般生活者向けのセミナーを、次年度からの全国的な本格実施にむけて次のとおり試行しました。

◇「インテリアコーディネート術を学ぼう」

（練馬区立春日町図書館において、11月30日）

◇「インテリアのプロに学ぶ住まいの模様替え」

（新宿区立四谷図書館において、3月15日）

また、主に資格者の能力向上を目的として、次のとおり講座を実施しました。

◇「I Cの使う契約書セミナー」

◇「フリーハンスケッチ技法」

◇「照明研修」

等々のプレゼンテーション技術、色彩、照明、商品選定などのスキルアップセミナーを6分野全19講座開催しました。

④中部支部

◇「新春会員情報交流会 2015／シンポジウム」

◇「名古屋新人研修会」「北陸新人研修会」

◇「会員企業によるインテリア情報セミナー」

等々の新人I C研修、シンポジウム、講演会、ファブリック・住設・照明・家具などの商品情報セミナーなど全17件を開催しました。

⑤関西支部

◇実践インテリアパース実技講座

◇インテリア講座（全12回一般生活者向け）

◇出前講座（松蔭女子大ほか3回）

等々のプレゼンテーション技術、資格制度普及などのセミナー等を全5件（18回）を開催しました。

⑥中国支部

◇住文化フォーラム 2014

◇カメラ講座「インテリア写真の上手な撮り方」

◇ビジネスフォーラム 2015

等々の IC・KS のスキルアップ、セミナーなど全 8 件を開催しました。

⑦四国支部

◇新 IC 新 KS 交流会

◇スキルアップセミナー2014 (5 講座)

◇インテリアフェア 2015 イン高知「曳家職人が見た堅牢な家」

等々、IC・KS のスキルアップ、講演会等のイベントを全 4 件開催しました。

⑧九州支部

◇世界中の壁紙を使ってチョウチョでアートコレクションボックス作り

◇インテリアコーディネーターと行く「はじめての家づくり」第一回バスツアー

◇第一回キッチンスペシャリスト資格者セミナー

等々の IC・KS のスキルアップ、生活者へのインテリア普及啓蒙などのイベントを支部主催事業 3 件、共同事業 4 件を含め、全 5 1 件を開催しました。

⑩沖縄支部

◇小学生向けインテリアワークショップ(那覇市)

◇「琉球風水と現代インテリアへの応用法」セミナー

◇著書「カミングア」に関する長嶺哲成氏講演会

◇「トータルリビングショウ 2016」インテリアワークショップ

等々の IC・KS のスキルアップ等のセミナー、講演会などを全 4 件開催しました。

⑪本部

千葉工業大学への出前講座として、インテリア産業と IC 資格制度に関する説明セミナーを実施しました。

4-2 IC 団体との連携・協力及びその活動支援

各地域の IC 団体との連携・協力については、前述の各支部における講座開催事業において、テーマ募集・企画・実施を通じて連携・協力したほか共同開催するなどして活動を支援しました。

また、一般の住まい手や事業者が地域の IC にアクセスする需要に役立てるために、協会のホームページに全国 IC 団体へのアクセスを促す専用ページを新設しました。

5. 調査研究支援事業

IC・KS が行う調査・研究への支援として、本年度は次のとおりキッチン関係についてテーマ公募・選定を行いその活動資金を助成しました。

①応募テーマ数 6 件

②採択テーマ数 3 件

③採択テーマ名 (応募者)

- ◇「働く主婦と家族のためのコミュニケーションキッチン～家族をつなぐキッチン～」(インテリアコーディネーター協会関西)
- ◇「地域コミュニティの活性化と災害時の炊き出しが可能な『公園キッチン』の提案」(特定非営利活動法人 HOTNET キッチン)
- ◇「家庭内省エネについて KS, IC の果たす役割の検証 - VOL. 2」
(JAFICA うちエコ研究会)

6. コンテスト事業

IC・KS資格制度の普及と有資格者等の能力向上を目的に、以下のコンテストを継続実施しました。新たな取組みとして入賞作品を掲載した年度型カレンダーの制作を行い広く頒布し認知度の向上を図りました。

6-1 住まいのインテリアコーディネーションコンテスト (第27回)

経済産業大臣賞、経済産業省製造産業局長賞の下付を受けて、次のとおりコンテストを実施しました。「高校生部門」については、審査結果が就職や進学に生かせるように昨年度より実施時期を早めました。

【一般部門】

①応募受付期間 平成26年11月7日～11月21日

②募集テーマ (応募作品数)

◇事例分野

新築部門 (32) リフォーム部門 (44) スタイル部門 (21)

◇課題分野

A部門「私だけのインテリア空間」(233)

B部門「素材を活かしたユニークなインテリア空間」(11)

◇応募総数 341作品

③審査結果 経済産業大臣賞1作品、製造産業局長賞1作品、会長賞2作品、部門賞5作品、優秀賞6作品、審査員特別賞4作品、合計19作品

④上位入賞作品一覧

■事例分野

	賞名	部門	作品名	氏名(代表者)
1	経済産業大臣賞	リフォーム部門	三原の家 ～茶室のある離れ～	川内 茂覚
2	インテリア産業協会会長賞	リフォーム部門	Colors カラーで分ける住まい	大和田 恵
3	部門賞	新築部門	中庭を囲む群像的なインテリア	中西 ひろむ
4	部門賞	リフォーム部門	Charlotte	飯沼 朋子
5	部門賞	スタイル部門	猫とアートと音楽と。	飯沼 朋子

■課題分野

	賞名	部門	作品タイトル	氏名
1	製造産業局長賞	A部門	château/シャトー	白男川 崇
2	インテリア産業協会会長賞	A部門	ライトミュージアムハウス	平野 翔太・神村 拓人
3	部門賞	A部門	クラインの壺のように	池田 秀幸
4	部門賞	B部門	縦にごろごろする待合の間	東 大典

【高校生部門】

- ①応募受付期間 平成26年7月8日～7月28日
- ②募集テーマ 楽しいリビングの提案（課題）
- ③応募数 96件（11校）
- ④審査結果 会長賞1作品、部門賞1作品、優秀賞2作品、奨励賞4作品、
合計8作品
- ⑤上位入賞作品一覧

	賞名	作品名	氏名	所属高校
1	インテリア産業協会会長賞	VARIOUS読書FORMS	人見 玲実	千葉県立市川工業高校
2	高校生部門賞	宇宙空間	渡辺 真子	名古屋市立工芸高等学校
3	優秀賞	家族の森	佐竹 祐保	宮城県工業高校
4	優秀賞	渦の間	大神田弥夢	山梨県立富士北陵高校

6-2 「キッチン空間アイデアコンテスト」(第4回)

KS資格制度の普及の一環として、全体テーマ「こんな人に、こんなキッチン伝えたい」を旗印にして、昨年度に引き続き次のとおり実施しました。

【実施概要】

- ①テーマ受付期間 平成26年10月1日（火）～11月8日（金）
- ②募集テーマ（応募数）
 - A 団らんキッチン空間（201）
 - B 人に優しい空間・地球に優しいキッチン空間（74）
 - C 暮らしが変わったキッチンリフォーム空間（25）
- 応募総数 300作品
- ③審査結果 会長賞1作品、優秀賞9作品、奨励賞14作品、
合計24作品
- ④上位入賞作品一覧

賞名	テーマ	作品タイトル	氏名
会長賞	A. 団らんキッチン空間	ガーデンキッチンがあるオフィス ～育てる×作る×食べる＝団らん～	伊藤 恵
優秀賞	A. 団らんキッチン空間	TOMARIGI	河添 甚
		BOX -家族とともに増える箱-	明庭 久留実
		世界family kitchen	小林 優花
	B. 人に優しい空間・地球に 優しいキッチン空間	multi kitchen	市川 晋太郎
		エコなコドモのコの字型 FARM Kitchen	鳥越 美咲
	C. 暮らしが変わったキッチン リフォーム空間(実施例)	それなら欲しいキッチン	布目 和也
うちのうち		國分 大輔	
3世代5人家族のコアキッチン		小山 公一郎・ 毛利 隆之・中野 恵	
	KITCHENを開放する空間	鶴 晃平	

6-3. 入賞作品カレンダーの制作

上位入賞作品を掲載した 2015.4~2016.3 の年度型カレンダーを次のとおり 2 種類制作して、インテリア関連の企業や学校等に広く頒布しコンテストや受賞作品の認知度向上を図りました。

◇住まいのインテリアコーディネーションコンテスト（一般）及びキッチンアイデアコンテストの統合版

◇住まいのインテリアコーディネーション高校生部門版

7. インテリア普及啓蒙・展示会開催事業

7-1 こんな部屋いいな絵画展示会（小学生対象）

(1) 東北支部「こんな部屋いいな」絵画コンテスト（第 1 2 回）

本年度も引き続き東北支部が地域の I C 団体や仙台市等との共催で、仙台市を中心とした宮城県下の小学生を対象にして実施しました。

①募集期間：平成 26 年 8 月末～10 月 22 日

②応募総数：1536 点（36 校）

③入賞：仙台市長賞、仙台市教育長賞、協会会長賞等

(2) 九州支部「こんな部屋いいな」絵画コンテスト（第 2 回）

地域 I C 団体との共催並びに鹿児島県教育委員会の後援を得て、本年度は鹿児島市を中心にして始良市、霧島市の小学校も対象に実施しました。

①募集期間：平成 26 年 8 月～平成 26 年 9 月 22 日

②応募総数：861 作品（35 校）

③入賞：最優秀賞、九州支部長賞、鹿児島県 I C 協会会長賞等

7-2 中学校技術家庭科用のインテリア副読本の作成配布

中学校の技術家庭科でインテリアを学んでもらうための、「技術家庭科・副読本」の配布については、全国の公立中学校 911 校に 142,520 部を配布しその教育現場で利用されて、当初の想定どおりの水準で実施しました。

本年度は QR コードを用いてスマートフォンにより季節毎の住宅のインテリアシーンを閲覧できるオプションも取り込みました。

7-3 展示会事業

本年度は次の 4 つのインテリア関連展示会について共催あるいは出展をして、インテリアの普及、資格者の能力・認知度の向上を図りました。

(1) 「GOOD OVER 50's コンパクトライフのススメ展」の共催

期間：平成 26 年 10 月 16 日～11 月 11 日

場所：OZONE プラザ

概要：一般生活者に向け、50 m²実物大モデルに住宅インテリア関連オピニオンの提言を盛り込み展示するとともに関連シンポジウムを併催しました。

共催：リビングデザインセンター OZONE

来場者数：5014 名

(2)「JAPANTEX 2014」への出展

期間：平成26年11月12日～14日

場所：東京ビッグサイト東1ホール

展示内容：

①インテリアエピソードギャラリー

②百人百窓 ～インテリアコーディネーターが語る窓装飾のポイント～

③インテリア万華鏡 1/12スケールのインテリア展示)等

主催：(一社)日本インテリアファブリックス協会/日本能率協会

来場者数：3日間合計32,005名

(3)「IFFT/インテリア ライフスタイル リビング 2014」への出展

期間：平成26年11月26日～28日

場所：東京ビッグサイト西1・2ホール

展示内容：(前述のJAPANTEX展示内容に準じる内容としました。)

主催：日本家具産業振興会/メサゴ・メッセフランクフルト

来場者数：3日間合計15,872名

(4)「建築建材展2015」への出展

期間：平成27年3月3日～6日

場所：東京ビッグサイト東6ホール

展示内容：

①住まいのインテリアコーディネーションコンテスト入賞作品展示

②ICのお気に入り仕上げ材の紹介・素材選びのポイント (B4×150枚)

③コンテスト入賞経験者のコーディネート事例・コンセプト手法の紹介

主催：日本経済新聞社

来場者数：4日間合計102,908人

8. 交流活動

インテリア関連の業界団体、教育機関、学術団体等との連携、関連メディアとの交流を引き続き推進しました。

また、内閣府、経済産業省など関係官公庁との連絡を的確に行い、当協会の諸事業の適正な運営に努めました。

III 協会の組織運営

1. 協会本部に設置する委員会組織体制と主な活動内容

外部有識者や協会会員企業により委員会を構成し、協会各事業の実施・運営方針等を審議するなどの活動を行い、各事業を推進しました。

具体的には次のとおり。

(1) 運営委員会

本委員会では、協会事業の重要方針・事業等として、平成27年度活動方針、同年度予算案等の審議を行い、事業計画・収支予算作成に反映しました。

(2) 情報・広報委員会

本委員会では、ホームページへのアクセス増加のためのWEBコンテンツの効果的閲覧方策や各種コンテンツ間の相互リンクの充実などについて検討を行い、情報・広報事業活動を展開しました。

(3) 資格制度検討委員会

本委員会では、試験制度、通信講座など全般に渡る課題点抽出を行い、改善の是非等について検討を深めました。

(4) インテリア普及啓蒙委員会

本委員会では、今後のインテリアの普及啓蒙活動の参考とするために、新築住宅(戸建・集合)を購入した一般住まい手800世帯にアンケート方式による「インテリア購買実態調査」を企画し実施したほか、中学校技術家庭科用の副読本頒布事業、展示会事業およびインテリア関係のコンテスト事業の審議・実施進捗管理を行なうなど精力的に活動しました。

(5) KS資格普及啓蒙委員会

本委員会では、「キッチン空間アイデアコンテスト」やKS・IC等が行う調査研究への助成事業の審議・実施進捗管理を行なったほか、KS資格の普及方策の検討などを活発に活動を行いました。

2. 会員活動

2-1 入会促進活動

本部・支部の各種活動を通じて、幅広く関連企業・団体等に入会を働きかけたほか、協会ホームページの会員募集ページについて、入会の手引き情報を追加してその充実を図りました。

年度末時点の会員数は次のとおり。

◇年度末会員数：正会員数は164（前年度169）賛助会員は35（前年度40）

2-2 「新会員管理システム」による事務処理の効率化

システムの本格稼働により、本部と各支部との間で会員の入退会・登録事項変更等の情報共有が迅速かつ正確なものとなり、効率的に会員管理業務を実施しました。

2-3 会員証リニューアルの実施

当協会の公益事業を支え、その活動をする者の証である会員証のデザインを一新し、新たにA4サイズの印刷版で制作し会員に配布しました。

3. 広報活動（協会および資格制度等）

協会事業の認知度を向上、一般生活者やI C・K S有資格者などに向けて次のとおり広報・宣伝等を行いました。

3-1 協会ホームページのWEBコンテンツの充実など

主にK Sの認知度向上を目的としてホームページの「K Sの活躍する現場」コンテンツに新規情報を掲載したほか、全体的にコンテンツ間の相互リンクを充実させて閲覧環境を向上させました。

また、I C・K S資格の魅力の広報につきましては、コンテスト入賞者や活躍する資格者を新聞・雑誌等のメディアに紹介するよう努めました。

3-2 「会報」の発行

協会事業活動情報を盛り込んでタイムリーに年4回の会報発行を行いました。同会報発行については会員管理システムを活用して、配布先住所情報など管理精度の向上を図りました。

3-3 「協会事業案内」の改訂

事業案内パンフを改訂増刷し、会員入会や各種イベントで配布して利用しました。

以 上